

千葉大学理学部極低温室

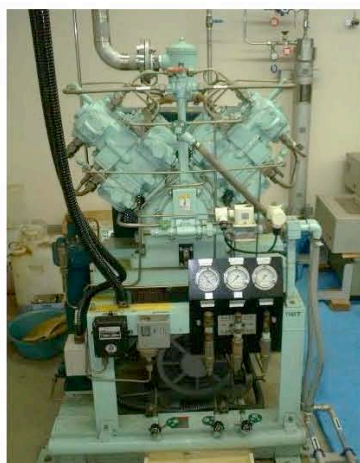


極低温室全景



ヘリウム液化機 PSI M1610

千葉大学では1974年に理学部にヘリウム液化機、液体窒素貯槽が設置された。1996年に液化機を現在のPSI社M1610に更新し、2001年に現在の建物に移設され、2006年4月に北陸先端科学技術大学院大学より液化用圧縮機RSJを譲り受けている。液化機はCTi1400、PSI社M1410に次いで現在のPSI社M1610が導入されて3代目である。当初40L/hの液化能力は導入後10年経過した現在（2007年）では20L/h前後である。



回収用圧縮機 東亜潜水 YS-85V



液化用圧縮機 左：PSI RSJ 既設 右：PSI RSJ 北陸先端大から移設

ヘリウム液化システム 1996年導入

ヘリウム液化機 PSI M1610 40L/h

ヘリウム貯槽容器 500L (2001年9月)

液化用圧縮機 PSI RSJ 325m³/h

PSI RSJ 325m³/h (2006年4月)

回収用圧縮機 東亜潜水 YS-85V 36m³/h

ヘリウム回収ガスバック 10m³, 5m³

処理能力

ヘリウム液化機 PSI 1610 672Nm³/日

ヘリウム液化用圧縮機 PSI RSJ 7,800Nm³/日

回収用圧縮機 東亜潜水 YS-85V 1,145Nm³/日

貯槽能力

液体ヘリウム貯槽 500L

液体窒素貯槽 5000L